自己改革へ全力

役職員が決意集会

自己改革への決意を力強く述べる山口組合長

JAはだのは5日、本所で役職員農協改革実践決意集会を開いた。役職員約250人が出席し、農協改革に対してJAが進むべき道を再確認するとともに、自己改革に一丸となって取り組んでいくことを誓い合った。

"ピンチをチャンスに"

山口政雄組合長は「農協法改正の内容はJAにとって大変厳しいものだ。今こそ役職員が一つになり、各事業に一層力を注いでいかなくてはならない」と力強く呼び掛けた。

続いて、宮永均専務らが改革に向けた今後の運営方針を説明。営農指導の強化や女性管理職の積極的な登用など、各事業の方向性について役職員が意識を共有した。

併せて、「農協改革について」をテーマに、農林水産省経営局の奥原正明局長が講演。「JAが本来取り組むべき、農家の所得向上やニーズに応えられるような事業に努めなければ、組織の存続は難しい」と現在のJAの在り方に警鐘を鳴らした。

締めくくりに、南支所の加藤英明渉外担当が「最大のピンチを最大のチャンスと考え、自己改革に全力で取り組んでいくことを誓います」と決意表明した。

営農指導強化など方向性を再確認

金融詐欺〝ご用心〟

被害防止に職員一丸

秦野市では、振り込め詐欺や還付金詐欺などによる被害が多発している。こうした中、JAはだのは利用者の貯金を守るため、職員一丸となって被害防止に取り組んでいる。

昨年度、JAはだのの店舗で貯金者の息子を装った詐欺が発生。窓口職員らの声掛けから、被害を未然に防ぐことができた。23日には、鶴巻、秦野駅前の両支店が秦野警察署から感謝状を受け取った。

犯行の手口は、マイナンバー制度や年金情報の流出を偽るなど年々巧妙化している。JAは「家族から、電話で現金を用意してほしいと頼まれていませんか」などの項目を記載した「振り込め詐欺チェックシート」を使い、利用者に注意を促している。

チェックシートの確認を呼び掛けるJA職員

JAはだの

発行所
秦野市
農業協同組合
（神奈川県）
〒257-0015
秦野市平沢477
電話 0463(81)7711(代)
編集兼発行者 宮永 均

春の座談会に出席を

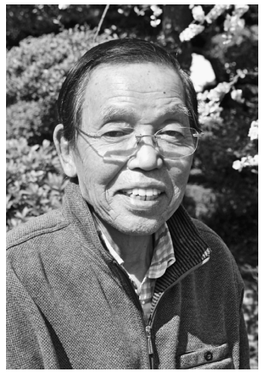
4月7日（木）から20日（水）

春の座談会を4月7日（木）から20日（水）まで、市内83会場で開きます。第53回通常総会開催および提出議案の他、営農経済改革や地域の実態に沿った情報などについて話し合います。

皆さんの貴重なご意見をお聞かせください。多くの組合員の出席をお願いします。

接近！おじゃします326

家族の笑顔が原動力


平沢の山口（やまぐち）　貞弘（さだひろ）さん（74）

「孫の成長を見守るのが楽しみ」と笑顔を見せる平沢の山口貞弘さん。18歳から3年間農業に励んだ後、㈱NTTに就職し、電話工事の仕事に33年間汗を流してきた。両親の体調の悪化などから55歳で早期退職。その後は看病と農業を両立し、忙しい毎日を過ごした。「働くことが好き」と話す山口さんは、現在も週3回、電話工事の監督官として現場を指揮する他、農業にも精力的に励んでいる。

現在、約10㌃の圃場（ほじょう）でナスやキュウリ、トマトなど年間10品目以上を栽培。親戚が営む市内の商店へ出荷する他、近所に住む息子一家に届けている。「子どもや孫の口に入るものなので、農薬は使わないようにしている」と常に家族の健康を第一に考える。山口さんの思いが詰まった野菜は、孫たちから「おじいちゃんの野菜はおいしい」と好評だ。家族の笑顔も働き続ける原動力になっている。

山口さんは、家族はもちろん地域も大切にしている。これまで三協町生産組合の組合長や内部役員などを務め、積極的に地域に貢献してきた。「三協町は人と人とのつながりが強い。小さなころからみんなにお世話になっているので、今後も自分にできることは協力したい」と意欲を燃やしている。

「孫の結婚式を見るのが今の目標」と笑顔で話す山口さん。「体に気を付けながら、何事も精いっぱい頑張っていきたい」と意気込みを語った。

直売所に野菜びな

栗原悦子さん　地場産で手作り

平沢の栗原悦子さんは3月3日のひな祭りに合わせ、じばさんずに野菜で作ったたひな壇飾りを設置した。自宅で育てた野菜で手作りしたもので、来店者から「表情やふっくらした着物がとてもかわいい」などと人気を呼んだ。

店舗入り口に設置された野菜びな

5体の野菜びなには約10品目の野菜を使用。頭はカブ、髪の毛は切り干しダイコン、おひなさまや三人官女の頭飾りは葉ボタンで仕上げた。

十二単（ひとえ）は落ち着いた印象にしようと、しならせておいたキャベツなどを使った他、今年は新たにワサビ菜を使用してボリューム感も加えた。

野菜びなの隣りにはキンカンと桜の枝を飾り付け、華やかさを演出した。

良質な野菜苗いかが

4月23、24日に春まつり

園芸協会

資材、肥料、農機具も

秦野市園芸協会は4月23、24の両日、じばさんず敷地内で「春まつり」を開く。地場産農産物の消費拡大を図ろうと開いているもので、毎年、良質な野菜苗などを求める多くの来場者でにぎわいを見せる。

良質な野菜苗が並ぶ会場（昨年）

会場では、秦野産の野菜苗や苗木、花きなどを即売する。

模擬店も軒を連ねる他、園芸資材、肥料、農機具なども並ぶ。

夏・秋に開催するジャンボヒマワリ・ジャンボカボチャコンテスト用の種子や、「緑のカーテン」に最適なアサガオの種子を無料で配布するなど、多彩なイベントを用意している。

品質の高さに定評

野菜苗出荷グループ

市内の農家4戸で組織する野菜苗出荷グループは毎年、春まつりに高品質な野菜苗を豊富に出荷している。同グループが供給する丈夫な苗は、家庭菜園愛好家はもちろん、農家からも好評だ。

同グループは30年ほど前に結成した。現在、鉢花農家1戸と施設野菜農家3戸で野菜苗を栽培している。30品目100品種以上を手掛ける他、毎年新たな品種にも挑戦。営や栽培方法などについて情報を交換した。

野菜苗の生育状況を確認する冨田代表

苗が傷まないよう支柱を立てるなど育苗にも工夫を凝らす。こうした生産努力の結果、昨年の春まつりでは2日間で約1万2000ポットを売り上げた。

冨田新一代表は「長年続けてきた伝統があるので、これからも多くの方に喜んでもらえるような品質の高い野菜苗を作っていきたい」と意気込みを語った。

「地産地消」躍進を

じばさんず生産者大会　「一致団結」誓う

地産地消の躍進を誓い合った生産者大会

JAはだのは14日、本所で第14回じばさんず元気いっぱい生産者大会を開いた。じばさんずの出荷者103人が参加。さらなる地産地消の躍進に向け、一丸となって取り組むことを誓い合った。

同店は昨年度、売り上げ9億9100万円、来店者数延べ54万4000人を達成。開会のあいさつで山口政雄組合長は「全国に誇れる直売所づくりには生産者の力が必要不可欠。今後も一致団結して直売所をさらに盛り上げていこう」と述べた。

大会では、年間売り上げを前年より50万円以上積み上げた出荷者を表彰。80歳以上で一定額以上を売り上げ、元気に出荷している出荷者には、じばさんずオリジナルジャンパーや記念品を贈って特別表彰した。

懇親会では、加工品出荷者や女性部員らが腕を振るった料理を堪能。交流を深めながら、農業経営に取り組む丈夫な苗を作り、農業を盛り上げていきたい。

彼岸供花求め好評

じばさんず

豊富な品ぞろえで人気を集める花コーナー

じばさんずは彼岸の期間中、供花を買い求める来店者でにぎわいを見せた。色鮮やかな花束を豊富に取りそろえた他、小菊専用ブースを特設するなど来店者の購買意欲に応え、約2万束を販売した。

同店は花の栽培が盛んな地域の特性を生かし、定番の和花に加え、カーネーションやユリなどの洋花も種類豊富に販売。生産者が追加出荷に励むことで、売り場に新鮮な花々が常に並ぶのも人気の理由の一つだ。

協同組合講座受講者を募集

JAはだのでは、新時代を切り開く幅広い視野に立ったJA運動のリーダーの育成と、共に活動に参加し合える組織づくりを目的に、協同組合講座を開催します。2016年度の受講生を募集していますので、ぜひご参加ください。

お申し込み、お問い合わせは各支所・支店または組織教育課まで。☎81-7714。

	組合員講座	組合員基礎講座
内容	協同組合の基礎知識を学んだ後に農政コース「税金・農政・法律」か生活コース「健康・文化・環境」のいずれかを選択	協同組合の基礎的な学習。JAはだのの取り組みを中心に、地域社会の情勢に合ったテーマ
対象者	組合員とその家族	准組合員とその家族
募集定員	60人	50人
期間	2016年5月～17年1月	2016年5月～17年1月
締め切り	4月8日（金）	4月8日（金）

来店者の一人は「いろいろな種類の花があるので、自分好みに組み合わせられてうれしい。今年は仏壇を華やかに飾って先祖に感謝を伝えたい」と笑顔で話した。

JAをろう！6

賀川豊彦の精神を大切に

農業団地センター入り口に設置した賀川豊彦の歌碑

前回、秦野出身の協同組合の先駆者である安居院庄七を紹介しましたが、協同組合の原点を再確認するためにJAはだのが注目している人物がもう一人います。それは熱心なクリスチャンで消費組合設立運動のリーダーなどとして活躍した賀川豊彦です。

賀川豊彦は神戸出身で、労働運動や農民運動などをけん引した人物です。「協同組合の国際化による世界平和」という持論の下に、生活協同組合の全国組織である日本生活協同組合連合会の初代会長に就任。「利益より人間尊重の社会を」という精神を説き続けました。

本所農業団地センター前には、JAはだのの創立25周年を記念して建立した賀川豊彦の歌碑があります。これは秦野市に滞在していた際に詠んだ歌を刻んだものです。来所の際にはぜひご覧になってください。

〝消費組合を設立〟〝人間尊重〟説く

育て「農」の担い手

市民農業塾がスタート

3コース36人にエール

はだの都市農業支援センターは5日、本所で「はだの市民農業塾」の開講式を開いた。農業への参画を希望する市民を対象に、「農」の担い手育成事業の一環として毎年開講しているもの。受講生をはじめ、塾長を務める古谷義幸市長、副塾長を務める市農業委員会の鳥海久元会長らが出席した。

希望を胸に開講式

今年度は、新たに就農・起業セミナーコース」に9人が参加。

塾長を務める古谷市長は「農業塾で多くのこと学び、秦野の農業活性化の一翼を担ってほしい」とエールを送った。

受講生にエールを送る古谷市長

基礎から学ぼう　新規コース　圃場実習

9日には、堀山下にある同塾の研修圃場（ほじょう）で「新規就農コース」の実習が始まった。菩提でブルーベリーや露地野菜などを栽培する伊藤隆弘さんを講師に、受講生4人がジャガイモを定植。鍬（くわ）の使い方や畝の作り方といった農作業の基礎の他、ジャガイモを植え付ける間隔など、栽培のポイントを学んだ。

受講生の関口隆彦さんは「しっかりと農業に関する知識を身に付け、秦野の農業を盛り上げていきたい」と意欲を燃やしている。

伊藤さん㊨からジャガイモの植え付け方法を学ぶ受講生

農作業事故防止へ　機械の点検・整備を

農繁期前に講習会

農機センターは、各地区の生産組合を対象に農機整備講習会を開き、農作業事故防止を呼び掛けている。組合員は春の農繁期を前に農業機械を点検し、適正な使用方法などを確認する。

11日には、鶴巻上部生産組合を対象に開いた。同センター職員は、組合員が持ち寄ったトラクターや自走式消毒機などの農機6台を点検。タイヤの空気圧や冷却水の量などの定期的なチェックを呼び掛けた。組合員はトラクターの細部などを掃除し、オイル交換や稼働部に潤滑油を差すなど整備を進めた。

トラクターの整備方法を説明するJA職員㊨

相原信義生産組合長は「講習会は農機の状態を確認する良いきっかけになっている。点検をしっかり行い、みんなで安全に農作業を進めていきたい」と話した。

梨部が圃場巡回　部員が意見交換

果樹部会梨部は3日、冬季の剪定（せんてい）作業をした部員の圃場を巡回した。収量確保や品質の向上につなげようと、剪定の仕上がりを確認。県農業技術センター職員の指導を受けながら部員同士で意見を交換した。

部員は市内4カ所の圃場で、剪定後に残した枝の太さや本数などを確かめた。適正な剪定をすることで日当たりや風通しが良くなり、樹勢の強化や花芽の増加、病害虫防除につなげる。センター職員が枝の理想的な配置を解説。剪定不足の木を手直ししながら、将来側枝にする枝を見極めることを伝授した。

井上一志部長は「学んだことを生かし、甘くておいしい梨を育てることで消費者の信頼を獲得していきたい」と意欲を燃やしている。

枝の配置を確認し合う部員

★営農技術★　ヒント・ポイント

■農業技術センター　58-0333

協力■普及指導部――果樹花き課　果樹（伊藤）内線374
果樹花き課　花き（益田）内線372
野菜課（堂田）内線363
作物加工課　作物（辻本）内線384

水稲

育苗について

1　播種（はしゅ）の準備

①種子の準備

種子の脱芒（だつぼう）・塩水選を行い、充実が良く、病気にかかっていない種子を選別します。塩水選後は水で塩をしっかり洗い流し、乾燥させます。

②種子消毒

種子伝染性の病害やシンガレセンチュウを防ぐため、種子消毒が必要になります。種子消毒は、塗沫（とまつ）処理で行うと浸漬（しんし）処理よりも廃液が少なくて済みます。

③育苗土の準備

育苗土の消毒は必ず行いましょう。購入培土は消毒済みですが、農薬は入っていませんので、育苗期間中の病害を予防するために、播種する2～3日前に農薬を混合しましょう。

④催芽処理

種子消毒後は水に浸し（目安は水温の積算温度100度（15度の場合7日程度））その後28～30度で半日程度処理し、ハト胸状態に催芽します。

2　播種

播種量は育苗箱1箱当り、催芽籾（もみ）で190㌘（乾籾で150㌘）を目安とし、厚まきに注意しましょう。

3　出芽～緑化

積み重ね方式の場合は5～6枚程度の積み重ねとしましょう。潅水（かんすい）は、播種前の床土に適切な量を施し、水分不足とならないようにしましょう。また、表面が固まると酸欠の原因になるので、覆土の上から潅水をしないようにしましょう。育苗箱内の温度は28～30度を目安に管理を行います。約3～4日で出芽となります。

1㌢程度に出芽したら直ちに広げ、寒冷しゃなどで覆い、緑化に移ります（おおむね7日間）。

緑化の最適温度は昼間20～25度、夜間15～18度です。緑化初日は、苗が伸びなくなるのを防ぐために、潅水しない方がよいでしょう。翌日からは、温度を低下させないように午前中に潅水します。

水の掛けすぎは、肥料の流亡、生育不良や病害の発生につながるので注意しましょう。

平置き方式の場合は、播種後から緑化期まで専用資材をべた掛けし、遮光と保温を行います。その際には、隙間ができないよう注意しましょう。

播種後5～7日程度に一度、覆土の持ち上がりを手直しするために中間潅水を行いましょう。播種後7～10日後に苗が5㌢程度になったら、被覆資材の除去を行います。

4　硬化

昼間の温度は20度前後を、夜間は15度前後を目安に管理します（おおむね10日間。低温のときには保温を行い、田植え1週間前ごろから徐々に外気温にならします。初期の潅水は午前中に1回行い、後半は昼間にしおれがみられた場合、15時までにもう一度潅水しましょう。30度以上の高温は、「苗が焼ける」状態になったり、苗立枯病を助長したりするので注意しましょう。（辻本）

野菜からこんにちは

原みつ江さん（下大槻）
「自給自足を目指して、農業を使わずに野菜を育てています」

高橋照子さん（菩提）
「一年半後のシイタケとナメコの収穫が楽しみ」

ボランティアが交流会

親しまれる施設へ　利用者に笑顔を

各グループがボランティア活動を披露

JAディサービスセンターはだのは12日、本所で第12回ボランティア交流会を開いた。施設利用者に対し、さまざまなボランティア活動に取り組んでいる26グループが一堂に会し、親睦を深めた。

ボランティアや関係者ら合わせて約100人が参加し、その中から7グループが舞台上で日頃の活動を披露した。各グループは腹話術や舞踊、ダンスなどで会場を盛り上げた。参加者らは会話を楽しみながら、互いの活動などについて意見を交換。利用者により親しまれる施設づくりを目指して意識を共有した。

山口政雄組合長は「地域貢献活動はJAの活動の重要な柱。今後もボランティアの方々と連携しながら、利用者の笑顔があふれる施設にしていきたい」と話した。

7チームが熱戦　尾尻西大竹に栄冠

ソフトボール大会

JAはだのは6日、市立おおね公園多目的広場で第27回ソフトボール大会を開いた。組合員の健康増進と相互の親睦が目的。7チーム102人が熱戦を繰り広げた。

同大会は1チームにつき1人以上の女性が出場することや、高齢者でも楽しめるように盗塁をしない独自のルールを適用。

優勝した尾尻西大竹チーム

選手は声を掛け合いながら一丸となってプレーし、女性選手もヒットを打つなどチームに貢献した。白熱した試合を制し、南地区の尾尻西大竹チームが優勝した。

同チームのメンバーは「女性の活躍もあり、チームで力を合わせて頑張った。優勝できてうれしい」と喜びを語った。

農家とJAがお手伝い

園児がジャガ植え付け

ひろはたこども園

ひろはたこども園は8日、下大槻の畑でジャガイモの植え付け体験を開いた。同地区の原宏さんが指導に協力。年少クラスの園児25人が参加した。

園児は「男爵薯」の種芋約100個を定植。園児は原さんに植え付け方を教わり、等間隔にジャガイモを並べ、丁寧に土をかぶせた。

植えたジャガイモは今後、原さんが管理。園児も草むしりなどを手伝い、成長を見守る。6月には、年長クラスになった園児が収穫を体験する他、取れたジャガイモを使ってカレーライスを作る予定だ。

原さんは「園児の笑顔がやりがい。たくさん収穫できるようしっかりサポートしていきたい」と笑顔を見せた。

園児に植え付け方法を伝える原さん

小島支所長とジャガイモを植え付ける園児

上幼稚園

上幼稚園の園児は16日、同園の圃場（ほじょう）にジャガイモを植え付けた。上支所の小島孝支所長の協力で、園児4人が作業に汗を流した。

植え付けたのは、JAが助成した「メークイン」の種芋3㌔。園児は、小島支所長が事前に耕しておいた圃場にジャガイモを並べていき、肥料をまいた。

「大きく育つのが楽しみ」「早く食べたい」と笑顔があふれた。

好手を打ち合う会員

小島支所長は「子どもたちには、ジャガイモを育てながら農業に興味を持つ心も育んでほしい」と話した。

今後、園児は同支所の協力を受けながら、芽かきや草むしりなどの栽培管理をし、農業の大切さを学んでいく。

緊迫した雰囲気　盤上で熱戦

囲碁・将棋同好会が総会・大会

JAはだの囲碁・将棋同好会は8日、本所で2015年度総会と会員対象囲碁・将棋大会を開いた。

総会で全議案が承認・可決された後、大会を開催。囲碁の部に31人、将棋の部に14人、合わせて45人の会員が参加した。

緊迫した雰囲気の中、会員は真剣な表情で次の一手を考えながら、盤上で熱戦を繰り広げた。

対局の結果は次の通り。

◎囲碁A優勝＝川瀬勉（河原町）◎囲碁B優勝＝有賀計壽（尾尻）◎将棋A優勝＝加賀幸治（横野）◎将棋B優勝＝古谷茂男（寺山）

発見！頑張り屋さん　No.395

西田原の―和田（わだ）文雄（ふみお）さん（85）

何事もチャレンジ精神

西田原で㈲和田技研を経営する和田文雄さん。東京都で生まれ、1943年に市内に越してきた。45年に日本専売公社に入社し、工場の機械作業や設備環境の整備などの仕事をする傍ら、専門学校にも通い工学を学んだ。

83年に㈲和田技研を設立し、さまざまな企業の製造ラインを支える機械や福祉関連機器などを開発。チャレンジ精神の下で積み重ねてきた実績が、幅広い企業の信頼を獲得している。

――仕事は？

機械の設計から製作まで一貫して請け負います。工場の製造ラインの搬送機器や卵スライサーなどの食品関係機器、自動車部品の組み立て機器などさまざまな機械を取り扱っています。JA全農かながわ秦野綜合工場にも袋詰めされた乾麺を自動で箱に詰める自動箱詰め機を納品しています。

――心掛けていることは？

常に問題意識を持ち、人から言われてやるのではなく自分で考えてやってみることです。いつもゼロからの出発であり、挑戦なくして㈲和田技研はありません。学んだ知識を生かして社会に貢献していきたいです。

――今後は？

日本の中小企業は外国から注目されています。私の会社も現在は国内企業の他、10カ国の外国企業と取引しています。設計図を持って地元の企業に飛び込み営業をするところから始まったので、これまでの付き合いを大切にしながら積極的に市場確保にも取り組み、自社製品の開発を進めていきたいです。

長寿者に記念品贈呈

いきいきライフ支援事業

おめでとうございます。末永くお元気でお過ごしください。

100歳（百寿）
▽本町地区＝遠藤ハル（曽屋）

88歳（米寿）
▽大根地区＝守屋誠（北矢名）
▽本町地区＝岩本ヨシ江（上大槻）
▽南地区＝小宮清（平沢）
▽北地区＝吉田ワカ（横野）関野忠治（羽根）
▽西地区＝髙田利定（渋沢）
▽上地区＝飯田注子（菖蒲）吉岡静雄（八沢）小宮八千代（八沢）

77歳（喜寿）
▽大根地区＝原キヨ子（下大槻）門倉愛子（鶴巻北）門倉一久（鶴巻北）
▽本町地区＝鈴木一郎（ひばりヶ丘）
▽南地区＝綾部幸子（今泉）高木文雄（今泉）髙橋恭代（尾尻）
▽西地区＝阿部能博（渋沢）栗原孝夫（渋沢）
▽上地区＝和田美和子（菖蒲）長田吉蔵（寄）

※自己申告ですので、該当の方は各支所、支店までご連絡ください。

炊き出し訓練を公開

地場産野菜で豚汁

災害時を想定 女性理事と初の共同作業

女性部本部役員とＪＡ女性理事は２月23日、じばさんずで、災害時を想定した炊き出し訓練を実施した。両者が共同で行う初めての活動として、昨年11月末に開いた女性理事との意見交換会から生まれたアイデア。両者合わせて20人が参加した。

水と米を入れたボウルを簡易かまどに乗せて炊飯

訓練では、手早く調理した豚汁を来店者に無料配布しながら、様子を公開。1時間弱で地場産野菜たっぷりの豚汁約120人分を作り上げた。

エーコープ品は安全

班長研修会 工場を見学

エーコープマーク品について学ぶ班長

女性部は2月16日、班長研修会を開き、群馬県にある、星野物産㈱の本社乾麺第一工場を見学した。女性部意識を高めるとともに仲間の輪を広げ、活動の活性化を図る狙い。各支部の班長66人が参加した。

班長は、「むしパンミックス」など数多くのエーコープマーク品を手掛ける同社の取り組みを知り、食の安全・安心や、共同購入の利用拡大へ意識を高めた。

参加者は「ヘルシーで調理しやすくなるように、こだわった製法を知り、勉強になった」と感想を話した。

女性部総会 ぜひ出席を

3月29日㊋後1時

第48回女性部総会を3月29日（火）午後1時から本所3階虹の間で開きます。女性部の今後の運営や取り組み内容は、女性部員の総意により決定します。一人でも多くの部員の出席をお願いします。

総会では「2015年度活動報告並びに収支決算書の承認について」「2016年度活動計画（案）並びに収支決算書（案）の承認について」「女性部特別会計の運用について」――の3議案を上程します。

家の光大会

各支部代表が発表

女性部総会終了後、同会場で「ＪＡはだの・家の光大会」を開きます。

各支部の代表7人が『家の光』記事活用や女性部活動を通じた体験を発表します。皆さんの応援が、発表者の励みにもなります。多くの方の出席をお待ちしています。京子

いきいき女性部活動

「リメイク小梅の会」

代表　上條　榮子

リメイク小梅の会は、今年で10年目を迎えます。会員は13人で、月2回、東支所で活動しています。古着などを活用して服や小物などを作っています。思い出の品、形見の品をいかにアレンジしていくか、悩みもありますが、完成したときの喜びは格別です。

指導してくださった先生の亡き後も会は継続し、教えていただいたことを大切にしています。良い作品ができるよう、みんなで頑張りたいと思います。

これからは今まで同様、女性部活動への参加、クッキングフェスタでの展示、文化交流会の作品発表など、仲間との交流を大事にしたいと思います。

完成作品は東支所に展示しているので、ぜひ見に来てください。

併せて、野外炊飯の様子を公開。食農教育雑誌『ちゃぐりん』の掲載記事を活用し、非常時でも用意しやすい空き缶などで作った簡易かまどを使って米を炊いた。

和田さかえ理事は「女性ならではのアイデアを部員と協力し合って実現させ、ＪＡを盛り上げていきたい」と意欲を燃やす。小泉裕子部長は「積極的に交流を深めて活動モデルを作り、女性部全体に広げていければ」と今後を見据える。

河津桜と菜の花 春の景色楽しむ

歩こう会

見事な景観に感嘆

目的別趣味グループ「歩こう会」は2月24日、松田山を訪れた。会員76人が参加し、花咲く春の景色に囲まれながら散策を楽しんだ。

一行は、新松田駅からスタートする「みどりのふれあい遊歩道」をハイキング。隣に菜の花、見上げれば河津桜が咲き乱れる中、景色を堪能しながら歩を進めた。

最明寺史跡公園で昼食後、桜まつり会場へ移動。約360本の桜が立ち並ぶ見事な眺めを前に会話も弾み、和やかなひと時を過ごした。

美術館見学し買い物楽しむ

西支部

西支部は11日、支部旅行で東京を訪れた。美術館「アミューズミュージアム」と旧中川水辺公園、有楽町駅前の東京交通会館を見学。部員40人が参加し、互いに親睦を深めた。

多くの仲間と親睦を深めた

アミューズミュージアムでは、アート、デザイン、エコロジーの分野で高く評価されている日本の布文化の魅力に触れた。

旧中川水辺公園では桜並木とスカイツリーの眺望、東京交通会館では全国各地のアンテナショップ巡りを楽しんだ。

体験発表者は次の通り。

▽大根支部＝宮川次子▽本町支部＝三川千代▽東支部＝大木トキ子▽南支部＝高橋小夜子▽北支部＝山口栄子▽西支部＝片倉厚子▽上支部＝竹内京子

料理メモ

西支部　女性生活班　森谷　好江

メンチカツ

＜材料（４人分）＞

Ａ（合いびき肉240㌘、かたくり粉大さじ２、パン粉大さじ３、塩少々、こしょう少々、ナツメグ少々、ショウガ少々、中濃ソース小さじ２）タマネギ１／２個、キャベツ３枚、卵１個、小麦粉適量、パン粉（衣用）適量、水１／２カップ、揚げ油

＜作り方＞

①キャベツ、タマネギを細かく刻む。
②ボウルにＡを入れる。
③①と②をよく混ぜて、手のひらに収まる程度の分量を１個として平たい円型にまとめる。
④卵と小麦粉を水で溶いて③をくぐらせ、パン粉を付ける。
⑤170～180度の油で揚げて出来上がり。

＜ひとことアドバイス＞

よく練って肉と野菜をつなげます。キャベツとタマネギの割合を増やすとヘルシーです。

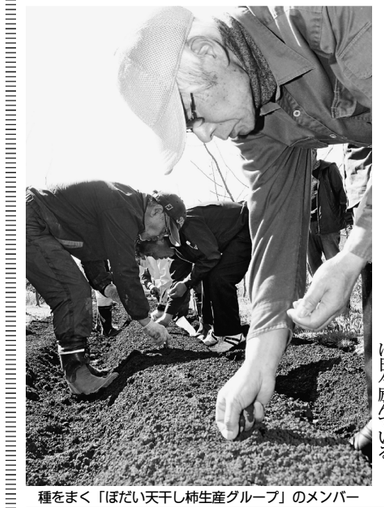
4月の女性部行事予定

4日(月)４ＪＡ新旧部長事務局会議
　10：30～ＪＡいせはら本所
7日(木)カルチャースクール
　9：00～大会議室
　〃　女性部本部役員会
　13：30～大会議室
11日(月)県女性協新旧役員会
　10：00～ＪＡグループ神奈川ビル
12日(火)女性部支部役員会（大根）
　9：30～大根支所・会議室
　〃　女性部支部役員会（本町・上）
　13：30～各支所・会議室
13日(水)女性部支部役員会（東・南）
　9：30～各支所・会議室
　〃　女性部支部役員会（北・西）
　13：30～各支所・会議室
14日(木)若いリーダー支部代表者会議
　10：00～第一会議室
22日(金)県女性協総会
　10：00～ＪＡグループ神奈川ビル

〝干し柿の里〟目指す

台木用を種まき

生産グループ 来年接ぎ木へ


種をまく「ぽだい天干し柿生産グループ」のメンバー

菩提地区の農家らは2009年に「ぽだい天干し柿生産グループ」を発足させ、干し柿の産地化に取り組んでいる。15日には、「甲州百目」の苗木を増やそうと山口博会長の圃場（ほじょう）で、同グループのメンバーと営農課職員合わせて9人が台木用の種をまいた。

同地区で干し柿の栽培が始まったのは1998年。高齢化などが進む同地区を活性化させたいと、現在、メンバー17人が「干し柿の里」づくりに日々励んでいる。

当日は、メンバーらが鍬（くわ）を使って圃場に畝を作成。12㌢間隔で合計約500粒の種をまいた。今後、1年ほど生育させた後、「甲州百目」を接ぎ木する予定だ。

山口会長は「干し柿がしっかりとした収入源になるように生産量を増やし、若い世代が作りたくなるような環境を作っていきたい」と語った。

生態知り自衛策を

有害鳥獣捕獲で講習会

鳥獣保護管理法について学ぶ参加者

ＪＡはだのとはだの都市農業支援センターは11日、本所で有害鳥獣捕獲講習会を開いた。講習会の参加者は、狩猟免許所持者の補助者として鳥獣の捕獲作業の補助ができるようになる。農家56人が参加した。

県湘南地域県政総合センターの職員と県鳥獣被害防除対策専門員、県猟友会秦野支部長が講師を務めた。鳥獣保護管理法の概要や捕獲対象鳥獣の生態などを説明。法律を順守した上で、鳥獣の生態を利用した対策を講じるよう訴えた。

参加者は今後3年間、狩猟免許所持者の補助者として、大型野生動物用の捕獲檻（おり）のメンテナンスや給餌、猟友会へ連絡をする役目などを担う。その他、ＪＡが管理する小型野生動物用の捕獲箱の貸し出し対象者に登録される。

花粉症に「べにふうき」

茶農家が対面販売

「べにふうき」を試飲する来店者

菩提の高梨茶園は5、6の両日、じばさんずで「花粉症対策フェア」を開いた。販売したのは、「べにふうき」の粉末緑茶。

「べにふうき」はアレルギー症状の緩和効果があると言われている「メチル化カテキン」を多く含むため、花粉症に悩む来店者を中心に人気を呼んだ。

同園の高梨孝さんが、いれ方を実演しながら、熱湯で湯出しすると効果が高まることなどを説明。試飲した来店者からは「すっきりした味わいで飲みやすい」「薬と違って副作用がないから安心して飲める」などと笑顔があふれた。

高梨さんは「栽培や加工方法にこだわっているので、自信を持って提供できる。さらに多くの方にべにふうきの効果を知ってもらいたい」と意欲を燃やしている。

地場産農畜産物おいしく調理

農業支援センター本所で料理教室

農家㊫から調理方法を教わる参加者

はだの都市農業支援センターは2月25日、本所で「食卓から考える地産地消」をテーマにした料理教室を開いた。地場産農産物をおいしく調理する方法を学ぼうと、市内の主婦ら12人が参加した。

講師は、農家組織「秦野の農村レストラン実行委員会」の会員5人が務めた。参加者は、ダイコンやレンコンなど旬の野菜を使い「切り干し大根の煮物」や「うらしずし」など5品を作った。会員から、根菜類が持つ消化を助ける効果や、食材の味を引き立てる米酢と砂糖の分量などについて説明を受けながら調理を進めた。

北村順子代表は「教室をきっかけに、秦野の野菜のおいしさが多くの人に広まってくれたらうれしい」と、笑顔で話した。

年金受給はＪＡにサポート体制充実

ＪＡはだのは、年金受給手続きに関する相談を受け付ける年金相談会を各地区で実施する他、本所で休日の相談会を開いている。「手続きはどうすれば良いの？」といった疑問の声に応えるため、年金に関する充実のサポート体制を取っている。

年金振込口座をＪＡに指定している利用者には、誕生日プレゼントやスーパー定期の店頭金利に0・5％を上乗せする「ＪＡマル得定期貯金」、年2回の年金1泊旅行の案内など、さまざまな特典を用意している。

分かりやすい説明が好評な年金相談会

また、2016年4月1日（金）から17年3月31日（金）までの期間、年金振り込みをＪＡ口座に新たに指定すると、神奈川県の名産品などを集めたカタログギフト「選べる味覚便」3000円相当をプレゼントする。

お問い合わせは各支所・支店、信用課まで。

新採用職員11人が農家研修

ＪＡはだのは18、22の両日、2016年度新採用職員研修の一環で農家研修を行った。農業生産の重要性を学ぼうと、新採用職員11人が市内3人の農業経営士の下で農作業に励んだ。

施設と露地で野菜を栽培する伊藤章さんの圃場（ほじょう）では、新採用職員3人がホウレンウや小松菜の袋詰めの他、ジャガイモの植え付けなどの作業に汗を流した。

作業を体験した川村咲希さんは「農作業するのは初めてだったので、貴重な体験になった。学んだことを生かし、地域に貢献できる職員になりたい」と意気込みを語った。

伊藤さんは「ＪＡ職員として、農家の苦労や秦野でさまざまな野菜が栽培されていることなどをしっかり学んでほしい」と期待を寄せた。

伊藤さん㊫から小松菜の収穫方法を学ぶ新採用職員

告知板

落ち葉堆肥の使用について

福島第一原子力発電所の事故の影響で、これまで落ち葉堆肥の使用は禁止されていましたが、７日付で落ち葉利用申請書提出農家に限り、国から使用が認められました。また、申請書提出農家以外の使用は認められていませんのでご注意ください。

お問い合わせは営農課まで。☎81－7718

かんきつ系苗木出荷状況について

昨年12月に生産組合を通じて申し込みを受け付けましたかんきつ系苗木ですが、九州地方での大雪の影響などにより、「湘南ゴールド」をはじめとする中晩かん系の苗木が出荷できない状況となりました。

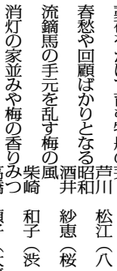
「湘南ゴールド」については、平成28年度産受注時期に繰り越し注文での対応とさせていただきます。注文のキャンセルや出荷不能品種の詳細などのお問い合わせはＪＡグリーンまで。☎81－7719

足柄茶（新茶）の取り扱いスタート

新茶の予約受け付けを開始します。４月末までにご予約の方には、予約価格（特別割引）で承ります。さらに2㌔以上予約された方には水出し茶ポットをプレゼント。また5㌔以上購入された方には予約価格より3％値引きをします。この機会にぜひご予約ください。

お問い合わせは各支所・支店または経済課まで。☎81－7717

菜の人 ～このひと～



変わったダイコンずらり

堀山下の飯田竜さん

堀山下で露地野菜を栽培する飯田竜さんの圃場（ほじょう）で、何股にも分かれているダイコンが収穫された。圃場一面に同じように種をまいたが、1カ所だけこうした形のダイコンが大量にできたという。

飯田さんは「収穫した後の洗う手間は掛かるけれど、子どもに人気があるので、じゃがいもずに出荷しようと思う。形は変わっているが、味は良いのでぜひ食べてほしい」と笑顔で話した。

はだのじばさんず 地場便り　４月のイベント情報

※準備の都合上、内容に変更があることがあります。ご了承ください。

☆「桜咲く入学フェア」２日（土）
桜の花を使った農家の手作り加工品や赤飯などを販売します。

☆「国産加工豚の日」２、９、16日の土曜日
㈱フリーデンが、国産豚を使用した加工品を対面販売します。

☆「おすすめ品フェア」９日（土）
おすすめの乾物などを試食販売します。

☆「イチゴフェア」16日（土）、17日（日）
秦野産のおいしいイチゴを販売します。

☆「漬物フェア」15日（金）
おいしい漬物を試食販売します。

☆「園芸協会春まつり」23日（土）、24日（日）
夏野菜苗の販売や模擬店が並びます。

☆「洋ラン展示即売会」29日（金）、30日（土）
秦野産の洋ランの対面販売です。生産者が管理方法も丁寧に教えます。

☆「産地直送フェア」29日（金）、30日（土）
沖縄を中心に全国各地の農産物や加工品を販売します。

☆「農村レストラン弁当」12日（火）、26日（火）
農家のお母さんの手作り弁当です。秦野産野菜がたくさん入っておいしいですよ。数量限定なので、お早目に。

☆「試食の日」毎週火曜日
生産者が出荷している旬の農産物やレシピを紹介します。

☆「お米の日」毎週水曜日
店頭価格から10％引き。

☆「肉の日」毎週木曜日
店頭価格から５％引き。

グランドゴルフ大会参加者募集

組合員の交流と健康増進を目的に第11回ＪＡはだのグランドゴルフ大会を開きます。

◎日時　５月25日（水）午前８時30分　※雨天の場合は５月27日（金）
◎会場　秦野市運動公園陸上競技場
◎募集人員　96人
◎参加資格　市内に在住する60歳以上でかつ組合員（家族を含む）またはＪＡはだのへの年金振り込み者。
◎申し込み方法　３月28日（月）から各支所・支店で申し込みを受け付けます。定員になり次第締め切りとさせていただきます。

お問い合わせは生活福祉課まで　☎81－7717

ターゲットバードゴルフ大会を開催

組合員の健康や生きがいづくりの一環として、第６回ＪＡはだのターゲットバードゴルフ大会を開きます。

◎日時　５月17日（火）午前８時30分　※雨天の場合５月19日（木）
◎会場　秦野市運動公園陸上競技場
◎募集人員　144人
◎参加資格　市内に在住する60歳以上の組合員（家族を含む）、または秦野市ターゲットバードゴルフ協会員。
◎申し込み方法　３月28日（月）から各支所・支店で申し込みを受け付けます。定員になり次第締め切りとさせていただきます。

※初心者・初参加の方を対象とした講習会も開いています。

◎日時　毎週土曜日午前９時～正午
◎場所　戸川公園多目的グラウンドB

お問い合わせは生活福祉課まで　☎81－7717

五月人形を展示即売

伝統工芸士が、匠（たくみ）の技で制作した五月人形やよろいかぶとの展示即売会を開きます。

◎日時　４月16日（土）～18日（月）午前９時～午後５時
◎場所　本所３階　虹の間

お問い合わせは経済課まで。☎81－7717

生産緑地地区の取得をあっせん

秦野市から生産緑地法第13条に基づき、次の通り生産緑地のあっせん依頼がありました。

◎場所　南矢名字北向4733番
◎地目　畑
◎面積　1570平方㍍

農業に従事される方で、生産緑地として取得を希望される方は、４月21日（木）までに、秦野市都市部都市政策課都市計画担当までご連絡を。☎82－9643

ケアマネを募集

ＪＡはだのケアセンターは、ケアマネジャーを募集しています。働きやすい職場ですので、お気軽にお電話ください。

◎資格　要普通免許、パソコン操作のできる方、実務経験のある方や介護保険認定調査ができる方はなお可
◎時給　1500円
◎時間　午前８時30分～午後５時（休憩１時間）
◎勤務　週３日以上（月に１回土曜出勤あり、日・祝日は休み）
◎待遇　交通費規定支給、社会保険加入（週４日以上勤務の方）

お問い合わせはＪＡはだのケアセンターまで。☎83－7210

さわやか農園利用者を募る

ＪＡはだのは、荒廃地対策の一環として「さわやか農園」を市民に貸し出しています。現在、西地区と上地区で利用者を募集しています。

◇西地区
◎場所　堀西1613番地１（１区画100平方㍍）
◎利用料　年間6000円

利用を希望する方は、西支所・佐藤までお問い合わせください。☎88－0004

◇上地区
◎場所　八沢158（１区画100平方㍍）
◎利用料　年間6000円

利用を希望する方は、上支所・向原までお問い合わせください。☎88－0007

お気軽にお越しください。

◎日時　４月16日（土）～18日（月）午前９時～午後５時
◎場所　本所３階　虹の間

お問い合わせは経済課まで。☎81－7717

住宅ローン 年金受給手続 休日相談会

●マイホームの新築・購入から、リフォーム・借り換えまで、資金のご相談を承っております。
●これから年金を受け取る皆さまの複雑な受給手続きのお手伝いをさせていただきます。

日時 4月24日(日)
※時間は午前9時～午後4時までどなたでもご相談いただけますので、お気軽にご来場ください。

会場 JAはだの本所 農業団地センター ご来場の方に記念品を進呈

それぞれ事前予約をされると便利です。
◆住宅ローンを相談される方は 融資課に
◆年金受給手続きを相談される方は 信用課に

JAはだの本所 秦野市平沢477
■融資課 ☎81-7713 当日は 0120-954-093
■信用課 ☎81-7716 当日は 0120-954-092

メインバンクは、JAバンク!!

春得 スプリングキャンペーン

2016年2月1日(月)～5月31日(火)

新規口座開設のお客様、JA住宅ローンなどをご利用中のお客様へ。

1 給与振込口座を新たにご指定いただくと 松下奈緒QUOカード ご応募いただいた方、全国で先着10万名様に 5,000円分プレゼント!

2 JAカード[一体型]の新規契約者には ニコスギフトカード 新規契約者にもれなく 1,000円分プレゼント!

※JAカード[一体型]とは、JAのキャッシュカードとクレジットカードが一体となった便利なカードです。

文芸の窓

〈俳句〉（酒井　敏光　選）

梅開きって未来へ近くいる　柳川みち子（栄町）

評　人の心は移ろい易きもの。梅はまだ咲きって残っていると云うのに早くも次へ次へと未来を持ち出したことで句が若々しく元気になった。

水音に気をもむ頃や梅孕む　佐藤英美子（南矢名）

評　三寒とは言え仲春を過ぎると冬のそれとは違い同時に梅には仕丹程の青い実が立春や地図はリュックに畳まれて　森高　由子（渋　沢）

蕾苞をかけて育む牡丹の芽　芦川　松江（八　沢）

春愁や回顧ばかりとなる昭和　酒井　紗恵（桜　町）

流鏑馬の手元を乱す梅の風　柴崎　和子（渋　沢）

消灯の家並みや梅の香りみつ　高橋　順子（大秦町）

つばくらめ日に二三度は聞き返す　選者

〈短歌〉（久保寺　富男　選）

石垣の隙間より首出す蕗の臺　生きの証のごとも陽を浴ぶ　今井　かめ（羽　根）

評　世に「根性・心」という言葉がある。まさにそのような環境の中に芽生えた蕗の薹であろう。下の句に作者の温かい気持ちがこもっている。

玄関に倒れひとせ春なるも　開けずの家は主待ちわぶ　細田　富士（千　村）

勤め持つ日々のありたることども　鶯の彼方に薄れゆきたり　八木　実（鶴巻北）

藪の中よりただたどと鳴く鶯の　声のきこゆる春は来にけり　峰　孝子（千　村）

カラカラの水無川に雨降りて　久久ぶりに瀬の音のする　小泉トシ子（清水町）

馬鈴薯の種イモ切らんと迂闊にも　指を痛めぬ無念なりああ　伊東　久（渋　沢）

ゆくりなく命救われし担当医の　マスク外せばさやけき若者　選者

※仮名使いは作者の用法を尊重しています。
※作品募集――毎月10日（締切厳守）までにＪＡはだの組織教育課宛にお送りください。

今月の理事会

３月22日に理事会を開催し、次のことを審議しました。

▽2015年度決算にかかる償却・引当案について
▽2015年度貸借対照表、損益計算書、注記表、剰余金処分案及び事業報告並びにこれらの付属明細書の監事及びＪＡ全国監査機構への提出について
▽役員報酬を総会に附議する件について
▽「2016年度（平成28年度）指導事業の費用に充てるための経費（賦課金）について」を総会に附議する件について
▽定款及び定款附属書役員選任規程の一部変更について
▽規約の一部変更について
▽信用事業規程の一部変更について
▽第53回通常総会の開催について
▽農協法改正に係る理事会運営規則の一部変更について
▽職制規程の一部変更について
▽公印、法人印鑑カード及び金庫管理規程の一部変更について
▽人事考課規程の一部変更について
▽懲戒規程の一部変更について
▽職能資格手当及び役職位手当支給内規の一部変更について
▽職員退職給与規程の一部変更について
▽オンライン端末機操作カード管理規程の一部変更について
▽特定農地貸付規程第3条2項に規定する別表の一括変更について
▽ヘルプライン運営要項の一部改正について
▽苦情等処理対応要領の一部改正について
▽女性活躍推進の取り組みにかかる行動計画の策定について
▽支所運営委員会の設置及び支所運営委員会規程（案）の設定について
▽「貸出金の利率」の一部改定について
▽高額貸出金の借入申し込みについて
▽ＪＡはだのオリジナルキャラクターの設定および著作権・商標登録（継続案）について（２015年度継続案）

新組合員です

53人が新しく仲間になりました！

【大根地区】
▽下大槻下部＝佐藤千鶴子▽鶴巻上部＝稗良太▽鶴巻中部＝中里君枝、小澤タツエ▽鶴巻第一＝宮田真美、安楽美年子（６人）

【本町地区】
▽乳牛＝大橋すみ子▽振興乳牛＝内田裕也、渡辺和子、川口総一郎▽入船＝高橋正、梶山綾子▽御門＝三武博▽上大槻＝黒川かつ（８人）

【東地区】
▽道場＝小泉欣也、小泉フジ子▽宝作＝吉野浩子▽井の城＝小瀬一夫▽上宿上＝梅野和彦▽谷戸＝田中利一▽その他＝小清水和也▽地区外＝齋藤陽子（８人）

【南地区】
▽北町第二＝小野充男▽南町＝佐藤謙一郎、佐藤直美▽今川町＝貞田英里、中根新太▽臼井戸＝監物和子▽新田町＝神戸久子、桐山千枝子▽開戸町＝高橋君江、宮村均▽東町＝松本道夫（11人）

【北地区】
▽菅提原下＝中戸川和夫▽横野下＝岡村良子▽多川＝吉田禮子▽沼代＝山口伸也、河内千恵子、大森光雄▽堀川上＝是枝昭子、志澤幸子▽千村１A＝森谷茂▽千村３＝田中京子、横田志津江▽渋沢中＝須藤仲吉▽曲松１＝金野百代、諸星廣子▽曲松３＝石井諭（14人）

【上地区】
▽柳川第一＝熊澤淳子▽地区外＝飯田文雄、川口春行（３人）

大豆を食べよう！ ～畑から食卓へ～

ヘルシー大豆クッキー

本町支部　山口 百合子

【材料30個分】
小麦粉（薄力粉）110㌘、ベーキングパウダー小さじ１／２、マーガリン40㌘、砂糖40㌘、溶き卵20㌘、ゆで大豆60㌘、あめ玉７～８個

【作り方】
①小麦粉、ベーキングパウダーをふるっておく。
②ゆで大豆を油は使わずに、いって水分を飛ばし、つぶしておく。
③室温で戻したマーガリンと砂糖の他、卵をボウルに入れ、泡立て器で混ぜた後、大豆を入れて再び混ぜる。
④③に①を入れ、ゴムべらで切るように混ぜる。一つにまとめてラップに包み、冷蔵庫で１時間休ませる。
⑤生地をラップの間に挟み、麺棒で５㍉くらいの厚さに延ばす。
⑥好みの型で抜き、抜いた生地もさらに小さめの型で抜く。天皿に並べ、抜いた箇所に砕いたあめ玉を置く。
⑦あらかじめオーブンを予熱で160度に温めておき、16～20分間焼く。

【一言アドバイス】
焼き過ぎないように気を付けましょう。あめ玉によって、いろいろな味を楽しめます。
※このレシピはＪＡはだの女性部大豆料理コンクールの出品料理です。

ＪＡデイサービスセンターはだの　ボランティア活動状況＜２月＞

利用者募集中

ＪＡデイサービスセンターはだのでは新規利用者募集中です。ぜひ一度見学に来てください。日曜日以外は、営業しております。お気軽にお問い合わせください。☎85－5177

日	曜	ボランティア名	内　容
1	月	・渡辺久江 ・まめの木	生け花 お茶出し、話し相手など
2	火	・石井博行	将棋、オセロ
4	木	・石井博行	将棋、オセロ
6	土	・岩田計枝 ・野木三夫	お茶出し、話し相手など 将棋
8	月	・まめの木（青木、飯田） ・矢野一博	お茶出し、話し相手など ハーモニカ演奏
9	火	・絵手紙愛好会（木村、宮前、山田） ・石井博行 ・竹とんぼ（奥谷、中山、泉田）	絵手紙 将棋、オセロ 音楽ボランティア
12	金	・まめの木（青木）	お茶出し、話し相手など
13	土	・小島繁義	将棋、オセロ
15	月	・まめの木（飯田、青木）	お茶出し、話し相手など
16	火	・石井博行	将棋、オセロ
18	木	・石井博行 ・秦野マジッククラブ（笠間、鈴木）	将棋、オセロ マジックショー
20	土	・野木三夫 ・岩田計枝	将棋 お茶出し、話し相手など
22	月	・まめの木（関野、諸星、東） ・すみれの会（宇山他３人）	お茶出し、話し相手など ちぎり絵
23	火	・ひばりの会（磯辺、中里、安部） ・石井博行 ・ラ、ポール（５人）	お茶出し、話し相手など 将棋、オセロ 音楽療法
24	水	・南秦野保育園（30人）	歌、お遊戯
25	木	・石井博行 ・矢野一博	将棋、オセロ ハーモニカ演奏
26	金	・まめの木（青木、山口） ・こざくら会（加藤、小野、下橋）	お茶出し、話し相手など 踊り
27	土	・小島繁義 ・絵手紙愛好会（谷、古谷、西海）	将棋、オセロ 絵手紙
29	月	・まめの木（飯田、芦川、関野）	お茶出し、話し相手など

ＪＡ正職員を募集

1. 応募資格　大学・短大を2017年3月卒業予定者で市内および隣接市町に在住の方
2. 募集人員　若干名
3. 職　　種　ＪＡ業務全般
4. 応募受付期間　3月1日(火)～4月28日(木)
5. 応募方法　下記ホームページの採用情報欄をご覧ください
6. お問い合わせ先　〒257-0015 秦野市平沢477番地 秦野市農業協同組合 企画管理部 総務課 ☎0463-81-7711（平日午前8時30分～午後5時）

■ホームページアドレス　http://www.jakanagawa.gr.jp/hadano/

組合員の声を活かし、より良いJA運営を

～春の座談会にご出席ください～

4月7日（木）から20日（水）　市内83会場で開催

組合員の皆さまの意見や要望をJAの運営に反映し、組合員参加による協同組合運動を高めようと、春の座談会を4月7日（木）から20日（水）まで市内83会場で開きます。

2015年度の事業報告や2016年度の事業計画、第53回通常総会の開催内容などについて報告いたします。

また、日頃JAについて疑問に思っていることや、ご意見・ご要望をぜひ、お聞かせください。組合員の皆さまのご出席をお願いいたします。

昨年の春の座談会（開戸町）

JAはだの

発行所
秦野市
農業協同組合
（神奈川県）
〒257-0015
秦野市平沢477
TEL 0463-81-7711(代)
編集兼発行者 宮永 均
印刷所 ㈱タウンニュース社

「ホームページ」と「メール情報配信サービス」を4月1日にリニューアル！

JAはだの

JAはだのの情報発信をより一層強化するため、ホームページとメール情報配信サービスをリニューアルいたします。

ホームページは、今までよりもページの幅を広げ、写真をたくさん掲載することで、明るくにぎやかなデザインに一新！JAや地域で活躍する組合員の取り組みを積極的に紹介し、農業を盛り上げていきます。

メール情報配信サービスは、用紙の記入をせずにウェブ上で簡単に登録できるようになります。詳しくはリニューアルした後のホームページでご確認ください。

※ホームページをお気に入り登録をされている方は、アドレスが変更となりますので、お手数ですが4月1日以降に登録の変更をお願いいたします。

変更前　http://www.jakanagawa.gr.jp/hadano/

変更後　http://ja-hadano.or.jp

協同組合運動の躍進に向けて

代表理事組合長　山口政雄

２０１５年度事業の報告に当たりまして、ごあいさつ申し上げます。

２０１５年度の日本経済は、一時は緩やかな回復基調にありましたが、１月末の日銀のマイナス金利政策導入以降、株価の急落や円高などにより、景気回復に向けた動きは強弱入り混じる足踏み状態となり、不安定な一年となりました。

農業を取り巻く環境では、農協法改正が国会で決議され、農業者の所得向上を基本とした「農協改革」の取り組みが課せられました。これに対して、ＪＡはだのでは「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」に向けた具体策を検討し、全力で自己改革に取り組むことを決めました。また、ＴＰＰ（環太平洋連携協定）の大筋合意は、日本の農業にとって大きな不安を与えることとなり、ＪＡグループで運動してきた国会決議を順守するよう引き続き粘り強く運動を展開していく必要があります。

ＪＡはだのでは、このような厳しい情勢の変化とこれまでの実践課題を踏まえ、協同組合運動の躍進に向けて、２０１５年度の事業活動実践に取り組みました。

組織運営では、女性や農業後継者の正組合員加入を促進し、組織の基盤強化をはかりました。また、組合員基礎組織の活性化や組合員と地域住民の絆をより深めるために支所を拠点とした協同活動の実践にむけて検討を行いました。

営農指導事業では、「第二次地域農業振興計画」の目標達成を加速化するために、「ＪＡはだの営農経済改革」を策定しました。また、地域の特性を生かした品目の生産振興と産地づくり、観光農業のさらなる充実拡大、鳥獣被害対策など「はだの都市農業支援センター」と連携して農業者の営農意欲喚起と支援機能の発揮に努めました。

販売事業では「はだのじばさんず」を地産地消の取り組みの拠点として、出荷者と共に消費者への情報発信と、旬を意識したイベントを実施して利用拡大に努め、新鮮で安全・安心な地場産農畜産物および農産加工品の品揃えの充実と供給拡大を進めました。

経営管理では、役員執行体制や営農経済部門強化に向けた人員配置を含む「農協改革」の取り組みなどを明確化した第四次中期経営計画を策定しました。また、組合員利用者の信頼性維持向上を目的に、不祥事未然防止に向けてコンプライアンス態勢の強化と、事務堅確性の向上に取り組みました。

２０１５年度は、厳しい経営環境の中、組合員の皆さま、そして地域の利用者の方々のご理解とご協力により、各事業とも概ね計画に沿った成果を残すことができました。

春の座談会では２０１５年度事業概況を報告するとともに、多くのご意見やご質問をいただき、今後の事業運営に反映させていきたいと考えておりますので、一人でも多くの組合員のご出席をお願いいたします。

歩む JAはだの

JAはだののすがた

活動の実績

●2016年2月29日現在
●（　）内は前年同期実績
●数字は単位未満切り捨て

※この特集号での数値は速報値となります

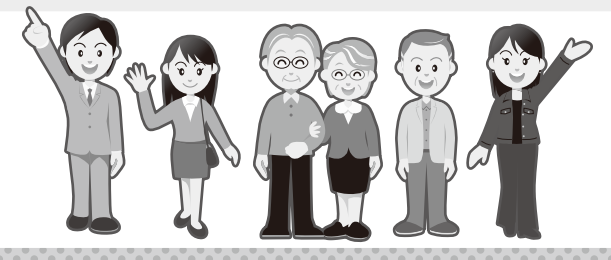
4 営農活動の取り組み

◇「地域農業振興計画」による営農指導の充実
- 生産振興と産地づくりの実践
- 営農に関する情報提供と支援機能の強化

◇はだの都市農業支援センターとの連携
- 体験型農園オーナー制度や旅行会社と連携した観光農業の実践
- 鳥獣被害防止に向けた取り組みの実践

1 みんなの仲間

組合員数	組合員戸数
14,084人（13,848人）	11,578戸（11,417戸）
内訳 正組合員 2,972人（3,004人）	内訳 正組合員戸数 2,349戸（2,376戸）
内訳 准組合員 11,112人（10,844人）	内訳 准組合員戸数 9,229戸（9,041戸）



5 安全・安心な農産物の供給

◇「はだのじばさんず」を中心とした新鮮で安全・安心な農産物の供給

全体の取扱高　24億6千万円（24億1千万円）

「はだのじばさんず」の利用状況

利用者総数 54万4千人（54万6千人）
1日当たりの利用者数 1,498人（1,514人）
取扱高 9億9千105万円（10億835万円）
1日当たりの取扱金額 273万円（279万円）

2 資本の状況

資本の合計

150億1千万円（145億3千万円）

内訳

準備金・積立金他	出資金
132億1千万円（127億1千万円）	18億円（18億2千万円）

6 健康と福祉の取り組み

◇健康管理活動の充実
◇高齢者福祉活動の充実
◇生活文化活動や子育て支援への取り組み
◇健康福祉基金による支援活動の充実

ケアセンターの利用状況

〈居宅介護支援事業〉　利用者人数　830人（937人）
〈訪問介護事業〉　利用者人数　501人（601人）
〈介護予防訪問介護支援事業〉
利用者人数　76人（108人）

3 組織活動・教育広報の取り組み

◇協同組合意識の高揚と組織リーダーの育成
◇次世代対策活動と食農教育活動の充実
◇生産組合組織の活性化に向けた取り組み
◇農政活動の取り組みと相談事業の充実

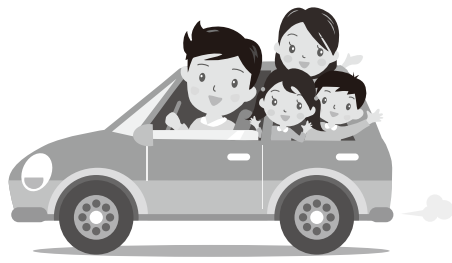
組合員・地域とともに 2015年度

10 農業・生活・事業資金などのご融資

◇農業振興や生活・事業などの資金対応
◇休日ローン相談会の開催
◇住宅・マイカー・教育ローンとくとくプランの実施

貸出金残高

453億4千万円
（455億3千万円）



7 共同購入でくらしを豊かに

◇予約購買による生産資材の供給
◇安全・安心な生活物資のPRと供給

全体の供給高

34億1千万円（38億2千万円）

内訳

生産資材
12億6千万円（15億7千万円）

生活物資
21億5千万円（22億4千万円）

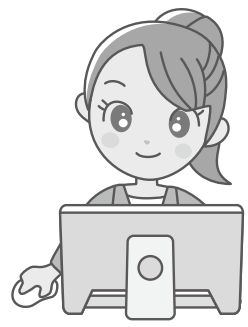
11 万一に備えての共済

長期共済新契約高

354億4千万円（377億7千万円）

長期共済保有高

4,562億円（4,599億6千万円）



1年間に支払った共済金額

事故　1,443件　8億円（2,014件　11億6千万円）
※事故共済金とは、死亡共済金、火災共済金、自動車共済金などです。
満期　2,826件　30億5千万円（3,086件　33億6千万円）
年金　2,054件　16億6千万円（1,975件　15億7千万円）

8 くらしのための共同施設の利用

◇JAセレモニーホールはだのの運営の充実強化
◇利用者に満足いただける旅行の提供

全体の取扱高

7億5千万円（7億8千万円）

主な施設の取扱高

旅行センター
1億6千万円（1億8千万円）

JAセレモニーホールはだの
232件　5億7千万円（234件　5億8千万円）

12 活動のみのり

当期余剰金

4億6千万円
（3億7千万円）

13 ㈱協同コンサルトはだの

◇まかせて安心JAのマイホーム建設
◇入居者に喜ばれる共同住宅のあっせん

入居率

96.2%
（96.5%）

9 便利で安心JAバンク

◇特別貯蓄運動・キャンペーンの実施
◇年金相談会の開催

貯金残高

2,162億8千万円
（2,119億7千万円）

第53回通常総会を開催

●日時　5月20日（金）午後1時30分～
●場所　秦野市文化会館　大ホール

第53回通常総会を5月20日（金）午後1時30分から秦野市文化会館大ホールで開きます。総会はJAの最高意思決定機関で、JAの運営や今後の取り組みなど、組合員の総意により決定します。一人でも多くの組合員の皆さんの出席をお願いします。

第53回通常総会提出議案は、下記の第1号議案から第8号議案まで上程します。

通常総会提出議案

第1号議案
2015年度（平成27年度）貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表及び事業報告の承認について

第2号議案
JAはだの「第四次中期経営計画（2016年度～2018年度）」の設定について

第3号議案
2016年度（平成28年度）事業計画の設定について

第4号議案
役員報酬の決定について

第5号議案
2016年度（平成28年度）指導事業の費用に充てるための経費（賦課金）について

第6号議案
定款及び定款附属書役員選任規程の一部変更について

第7号議案
規約の一部変更について

第8号議案
信用事業規程の一部変更について

その他臨時案件

会場入場券のご持参を

総会に出席される方は、開催案内に記載されている「会場入場券」を必ずご持参ください。

なお、総会出席者に配布する粗品は、ご来場されたご本人のみとさせていただきます。

2015年度（平成27年度）剰余金処分案

1.当期未処分剰余金	8億9千万円
2.剰余金処分額	5億円
（1）任　意　積　立　金	3億6千万円
①組合員教育特別積立金	1千万円
②事業基盤強化積立金	2億5千万円
③地域農業振興基金	1億円
（2）出資配当金	5千万円
（3）事業分量配当金	9千万円
3.次期繰越剰余金	3億8千万円

※数字は単位未満切り捨て

（注）1.出資配当は3.0％の割合です。
2.事業の利用分量に対する配当金の基準は次のとおりです。定期貯金、定期積金、譲渡性貯金の年間平均残高10万円以上に対して1万円につき10円の割合。

JAはだの 営農経済改革

—2016 年度～ 2018 年度—

JAはだの営農経済改革は、「第二次地域農業振興計画」の目標達成に向けて取り組みを強化・加速化することを目的に策定しました。特に重点項目として「営農指導体制の強化」「販売力強化」「生産購買事業強化・再構築」を柱に具体策を示しています。改革を確実に実践することで、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を目指します。

Ⅰ. 営農指導体制の強化に向けた具体策

1. 営農指導体制の整備

（1）営農指導員の確保と体制整備

①担い手ニーズに対応できる営農指導員・TACの人材を確保する。

※TACとは、地域農業の担い手へ恒常的に出向き、情報の提供と意見・要望の収集などのパイプ役を務め、JAの総合機能を発揮した活動を行う担当者の愛称のことです。

②専門性の高い職員を育成するために、長期配属が可能な体制整備を行う。

（2）営農指導員の育成と資質向上

①各種研修会に参加し、担い手の経営分析と実需者ニーズに対応した栽培・販路などの企画提案能力の向上を図る。

②営農指導事業に関わる全ての職員は、営農指導員などの業務に有用な各種資格取得を目指す。

（3）情報収集・情報発信機能の強化

「担い手対応支援システム（TACシステム）」を活用してTAC担当者が収集した担い手ニーズを共有化し、要望に応じた情報提供や個別課題の解決に努め、担い手の満足度向上に努める。

2. 営農サポート・経営相談などの充実

（1）多様な担い手（労働力）の確保

担い手ニーズに即した農作業受託組織（援農ボランティアなど）の育成と効率的な運用に取り組む。

（2）農地利用集積と未利用農地対策

荒廃農地の解消および拡大防止の推進に取り組む。

（3）農業経営管理支援

行政などの関係機関と連携して、集落営農団体や法人化の支援に取り組む。

（4）関係機関との連携強化

行政への施策要望を通じて、地域実態に即した対策の実現に向けた働きかけを展開する。

（5）鳥獣被害対策の取り組み強化

①行政や地域住民と連携した鳥獣被害対策に取り組む。

②鳥獣の侵入防止対策と駆除を徹底する。

（6）農作業安全運動の展開

①農作業事故防止のための啓発活動を強化する。

②農業労災保険の加入を促進する。

3. 新規就農者などのサポート強化

（1）相談機能の強化

経営感覚を持った農業経営者を育成する機会として、はだの市民農業塾のカリキュラムなどの充実に取り組む。

（2）就農支援の環境整備

就農者に対し、農地、施設、機械、資金などについて支援できる環境整備に取り組む。

4. 地域農業の理解醸成と観光農業の振興

（1）地域農業の支援者の拡大と認知度の深化

①安全・安心な農産物づくりの取り組みを強化する。

②地域農業の理解促進と情報発信機能を強化する。

（2）観光農業の振興

多彩な収穫体験やオーナー制度などの体験型観光農業の充実に取り組む。

5. 第三次「地域農業振興計画」の策定

①第三次「地域農業振興計画」を策定する。

Ⅱ. 販売力強化に向けた具体策

1. 都市農業の特徴を生かした多様な販路による販売力の強化

（1）振興作物の選定および地域の特色ある農産物の育成・販売

地区営農推進協議会や各種組織、営農座談会を通じ、振興作物の選定と生産拡大に取り組む。

（2）JA機能を発揮した売れる農畜産物づくり

実需者ニーズの把握と農家巡回などによって生産・販売情報を提供する。

（3）農産加工事業の取り組みの支援

農産加工などの農家の起業活動および販売を支援する。

（4）共販への取り組み強化

各販売先と連携して、有利販売に取り組む。

（5）買取販売の実施による有利販売の展開

生産と消費者ニーズのマッチングを通じ、買い取りによる有利販売を展開する。

2. JA直売所の一層の充実と地産地消の推進

（1）JA直売所を拠点とする販売力強化

①JA直売所の出荷登録者の拡大および組織の充実に取り組む。

②端境期、不作時、出荷集中時期の対策の整備および買取販売の実施に取り組む。

③営農指導と連携し、有利品目への作付けを誘導する。

④出荷者とJA直売所の情報交換の場を設定する。

⑤JA直売所における「食の発信拠点となる施設」などの設置に向けた研究に取り組む。

⑥農産物宅配などの展開を検討する。

（2）地産地消のさらなる充実や6次産業化による地域特産物の販売強化

①少量多品目生産に対応した営農指導を展開する。

②学校給食への継続供給と地場産農産物の理解促進。

③地域特産品のPRを強化する。

④農家の創意工夫を活かした、加工・直売への取り組みを支援する。

3. 販売力を発揮するための体制整備

（1）販売力強化に必要な担当者の配置、人材育成

各種研修へ担当者を参加させマーケティング力の向上を図る。

（2）販売担当者の情報に基づく関連部署間の連携の強化

営農指導員・TACミーティングなどを定期的に開催し、情報を共有化する。

Ⅲ. 生産購買事業強化・再構築に向けた具体策

1. 生産コスト低減対策

（1）営農指導機能発揮によるコスト削減

土壌診断の推奨によって、効率的な施肥を提案する。

（2）物流体制の見直しによるコスト削減

自己取り対応の充実による配送コストのさらなる低減に取り組む。

（3）「JAグリーンはだの」の機能充実

①園芸相談機能をさらに充実する。

②「JA重点対策品目」の追加と価格対応を強化する。

2. 担い手に対する柔軟な価格対策の検討

（1）大口利用者に対する購入量に応じた値引き対応

他業態に負けない生産資材価格の実現に向け、大口利用者向けの割引を導入する。

（2）仕入れ先の選定による仕入れコストの削減

仕入れ先の選定を柔軟に対応することによって、仕入れコストを削減する。

（3）予約購買事業強化による価格メリットの追求

予約品目の充実・見直しによって予約購買取扱量を結集する。

（4）地域農業振興基金の運用益などを活用した、利用者への奨励金を検討する。

ＪＡはだの第四次中期経営計画

—2016 年度～ 2018 年度—

1. 組織および組織運営改善計画

①継続的な組織基盤拡充・強化
組合員の加入促進
組合員後継者対策の強化

②准組合員とJAの関係強化
准組合員の協同組合活動への参加促進
准組合員の意思反映強化

③地域に根ざした協同活動の展開
支所を拠点とした協同活動
組合員および地域住民との関係強化

④組合員の意思反映強化
組合員訪問日・座談会の充実による多様な意見の反映
生産組合長会議や各種委員会の意思反映強化

⑤組合員組織の育成・活性化の充実・強化
生産組合・業種別組織の活性化
女性部・青年部組織の基盤強化・組織育成

⑥組合員教育・広報活動
組合員教育事業の体系的な実施
次世代対策活動・広報活動の充実・強化

⑦農政活動、相談・補償対策の取り組み
農政活動の強化
相談事業の充実と税務対応・補償対策への取り組み

2. 事業活動改善計画

①営農指導事業
営農担当職員の人材確保・育成と営農指導体制の強化
多様な担い手の育成・支援
安全で安心な農畜産物の供給拡大
遊休・荒廃農地の解消
農業への理解醸成や体験型観光農業の振興

②生活指導・福祉事業
健康管理活動、高齢者福祉活動や生活文化活動の充実
農産加工品の品質向上、品目拡大に向けた取り組み

③販売・購買事業
生産振興作物の選定と買い取り販売拡大による生産者手取り金額の向上
「はだのじばさんず」などの直売所運営の工夫と販売体制の強化
特産品振興への取り組み
組合員・利用者の利便性向上を図るため、事業実施体制の拡充・整備
店舗間の連携による利便性向上と効率化

④金融・共済事業
農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供
地域農業振興と地域活性化に貢献する融資体制の整備
「ひと・いえ・くるま」の総合保障の拡充

3. 経営管理改善計画

①役員体制
役員選出の仕組みと体制の再構築
女性や青年が経営に参加できる体制づくり

②経営組織整備
営農指導体制の強化
金融共済部門の企画・推進戦略機能および事務の堅確性向上

③総合経営収支および財務基盤強化
健全な財務基盤の維持・強化

④大規模災害対策強化
意識向上と物的備えの計画的整備

⑤コンプライアンス（法令遵守）およびリスク管理態勢
コンプライアンスの徹底

⑥内部監査態勢の整備・充実
会計監査人監査制度への対応

⑦人事労務管理強化および役職員教育研修
役職員教育研修体系の確立

4. 行政機関および他団体等との連携改善計画
行政機関・他団体などとの連携強化
アジア諸国との交流促進

5. 地域・社会貢献実施計画
地域社会づくりの取り組み

『支所運営委員会』の設置について

JAはだのでは、協同組合運動の躍進に向け、さまざまな活動の実践に取り組んでまいります。その中の一つとして、地域農業振興や組合員組織活動の活性化による組織基盤の強化および地域の活性化に取り組むとともに、JAはだの自己改革にも反映した、地域から信頼されるJAとして認識される活動を進めていきたいと考えております。

特に現在は、生産組合・業種別部会・青年部・女性部の組合員組織による新たな地域連動活動が重要視されている中、支所を拠点とした協同活動の展開が重要性を増してきています。

つきましては、支所がこれまで以上に組合員組織および地域と連携し、組合員や地域住民の意見を反映した協同組合活動を展開するとともに、地域課題の解決、地域の絆づくり、JAはだのおよび支所の運営全般にかかる課題の検討などを目的とした『支所運営委員会』を設置します。

『支所運営委員会』

＜活動＞
① 支所を基点とした「協同活動」の検討
② 支所の組織活動にかかる課題の検討
③ 地域農業振興にかかる課題の検討
④ 組合員組織の連携強化（情報の共有化）
⑤ ＪＡと地域の連携促進（地域課題の解消）
⑥ 地域のつながり強化（地域の絆づくり）　など

＜構成＞
① 理事・監事（常勤は除く）
② ３組織
- 生産組合
- 女性部
- 青年部

③ 准組合員
④ 委員会が必要と認めた組合員

【活動事例】
① 生産組合・業種別部会・青年部・女性部と連携した地域住民対象の支所まつりの検討・実施
② 組合員および地域住民を対象とした農業収穫体験などの検討・実施
③ 地域住民を対象とした支所支店かわら版の発行
④ 女性部を中心としたお茶飲み交流会の検討・実施
⑤ 組合員を対象としたゴルフ大会の検討・実施
⑥ 生産組合の活性化をはかる視察研修会の検討・実施　など